

子ども読書活動推進計画

(第2次計画) を

策定しました

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。そのための環境の整備を社会全体で積極的に推進していくことは極めて重要です。

市では、第1次計画に基づくこれまでの取組の成果や課題と、子どもの読書を取り巻く環境や情勢の変化を踏まえ、本市の子ども読書活動をさらに推進することを目指して「米原市子ども読書活動推進計画（第2次計画）」を策定しました。計画の期間は、平成27年度からおおむね5年間です。

基本目標

本との出会いで
子どもの生きる力を育む

4つの 基本方針

- 1 子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の整備・充実に努めます。
- 2 家庭、地域、学校、園、図書館等が相互に連携を深め、子どもの読書活動の推進に努めます。
- 3 子どもの読書活動の推進に携わる人材の育成を図ります。
- 4 子どもの読書活動推進に関する市民の理解と関心の啓発に努めます。

子どもの読書活動推進のための方策

- 乳児に対する取組
- 幼稚園・保育所での取組
- 小学校での取組
- 中学校での取組
- 学校図書館の整備充実
- 市立図書館の役割
- ボランティアの活動
- 市立図書館と学校図書館の連携強化

家庭での読書活動



市立図書館の
児童サービス



読書の
まちづくり
に向けて

家読（うちどく）の
すすめ



おはなしボランティアの
育成

